

# 発カビクロスの貼り替え

## ■施工手順

### 1. 養生

(1) 床（畳等）、壁、柱等に薬剤、糊等が付着しないように養生する。

### 2. クロスの除去

(1) クロスの裏紙が残らないように静かに剥がす。

※ ゴム手袋、マスクを着用して作業を行う。

### 3. 殺菌・漂白

(1) 「マスティーカービトリ」(1kg)を原液～2倍の水(1～2L)で希釈し、スポンジ等に付け心持ち固めに絞って発カビ部を拭く。

(2) 2～3時間放置後、清水で絞ったきれいな雑巾で処理部を拭き、薬剤を除去する。

(3) 1～2時間乾燥させる。

### 4. 防カビ

(1) 「マスティース・8」を刷毛、ローラーにて下地全面に均一に塗布する。

(2) 下地に湿気が無くなるまで1時間～数日間乾燥させる。

### 5. クロス貼り

(1) クロス貼り専用接着剤「アミノールUP」18kgを約50%の水(約9L)で希釈し、糊付け機械にてクロス裏面に均一に塗布する。

(2) 養生袋「カンガルー」内でクロスに適合したオープンタイムを取った後、貼り合わせる。

(3) ジョイント部は突き付け施工にて行う。重ね切りを行う場合は、下地を切らないよう「PP下敷きテープ」(350-126)等を使用する。

## ■使用商品 (施工㎡数)

### ●マスティーカービトリ

商品番号	荷姿	施工㎡数
236-201	20kg	200㎡/20kg(原液)
236-202	1kg×4×4	10㎡/1kg(原液)

### ●マスティース・8

商品番号	荷姿	施工㎡数
237-401	18L	180㎡/18L
237-402	4L×4	40㎡/4L
237-403	2L×10	20㎡/2L

### ●アミノールUP

商品番号	荷姿	施工㎡数
212-001	18kg	150㎡/18kg

## ■注意事項

- ① はみ出した薬剤、接着剤は直ちに清水にて拭き取って下さい。
- ② クロス貼り後、3～4日間は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めて下さい。
- ③ 施工は5℃以上で行って下さい。
- ④ 「マスティース・8」を使用する際は、火気・換気に注意して下さい。
- ⑤ クロス貼り前は、換気を充分行い、下地を乾燥させて下さい。
- ⑥ 壁紙の種類によっては接着しにくいものもありますので、試験施工した上で施工して下さい。
- ⑦ コーナー、見切り部分の剥がれ防止に「ジョイントコークA」の使用をお勧めします。
- ⑧ 下地の損傷が著しい場合は、下地を貼り替えて下さい。
- ⑨ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、充分にご理解頂いた上でご使用下さい。